

令和3年度 事業報告



人間を救うのは、人間だ。

 日本赤十字社 香川県支部
Japanese Red Cross Society

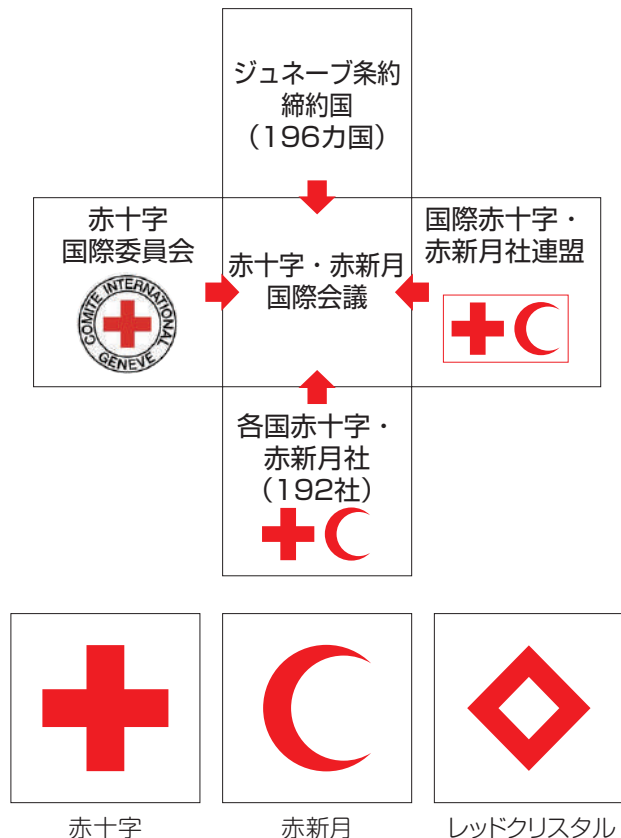
赤十字のはじまり

1859年6月、スイス人アンリー・デュナンは、イタリア統一戦争の激戦の地ソルフェリーノにほど近いカスティリオーネで、戦野に放置されていた傷病兵の悲惨なありさまを目のあたりにしました。そこで、デュナンは、「傷ついた兵士は、もはや兵士ではない、人間である。人間同士として尊い生命を救わなければならない。」との思いを抱き、住民に協力を呼びかけ、敵味方の区別なく救護につとめました。この時の思い出をつづったデュナンの一冊の本「ソルフェリーノの思い出」がきっかけとなって、1863年2月、ジュネーブに赤十字国際委員会が、また1919年5月には平時活動を担当する国際赤十字・赤新月社連盟が創設されました。

赤十字の標章

赤十字の標章（マーク）は、1863年の国際会議において、赤十字の創始者デュナンの祖国スイスに敬意を表し、スイス国旗の配色を反転させ、「白地に赤十字」と決められています。現在ではイスラム教国の多くは、「白地に赤い三日月（赤新月）」のマークを使っていますが、これも赤十字と全く同じ組織であることを示すマークとして認められています。この標章は、保護の標章として戦時において、軍の衛生部隊に所属する人、建築物、施設、車両及び資材等に付し、これらを攻撃の対象としてはならないと決められています。

また、表示の標章として、赤十字社の建築物、車両、出版物等に付し、赤十字の目的を達成するために使用されています。これらの標章の使用は、国際法「ジュネーブ条約」さらに国内法（日本の場合は「赤十字の標章及び名称等の使用の制限に関する法律」昭和22年法律第159号）で厳しく制限されています。



国際赤十字・赤新月運動の基本原則

(第20回赤十字国際会議 (1965年、ウィーン) 決議第8
改正:第25回赤十字国際会議 (1986年、ジュネーブ) 決議第31)

第20回赤十字国際会議は、赤十字の活動の基礎である次の基本原則を宣言する。

人道

国際赤十字・赤新月運動（以下、赤十字・赤新月）は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的および国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月は、すべての国民間の相互理解、友情、協力および堅固な平和を助長する。

公平

赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字・赤新月はただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合もっとも急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

中立

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時のいずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも政治的、人種的、宗教的または思想的性格の紛争には参加しない。

独立

赤十字・赤新月は独立である。各国の赤十字社、赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、常に赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉仕

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。

単一

いかなる国にもただ一つの赤十字社あるいは赤新月社しかありえない。赤十字社、赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行なわなければならない。

世界性

赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社、赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

CONTENTS



1 全国赤十字大会…………… 1

2 赤十字会員と活動資金の状況…………… 1

3 災害救護…………… 2

4 国際活動…………… 8

5 救急法等の講習…………… 9

6 赤十字奉仕団……………14

7 青少年赤十字……………18

8 医療事業……………22

9 血液事業……………24

10 赤十字思想の普及……………25

11 香川県赤十字有功会……………26

12 評議員会……………26

13 決算概要……………27





全国赤十字大会

大会は、令和3年5月20日（木）東京都港区の日本赤十字社本社に名誉総裁皇后陛下並びに名誉副総裁各妃殿下ご臨席の下、全国から約60人の赤十字会員が集い、全国赤十字大会が開催される予定でしたが、新型コロナウイルスの感染状況がさらに悪化したことから、参会者等の安全確保のため、中止となりました。



赤十字会員と活動資金の状況

「会員」とは赤十字の活動や理念にご賛同いただき、赤十字の活動資金を納入される方のことです。

「日本赤十字社は、会員をもって組織する」のとおり、赤十字の活動は多くの会員によって支えられています。

令和3年度においても、「人間を救うのは、人間だ。」を赤十字運動標語として掲げ、5月の「赤十字会員増強運動月間」を中心に地区・分区及び赤十字奉仕団等との円滑な協力関係のもと、県内一円で会員増強運動を展開しました。

▶ 会員の状況

年 度	会 員 数		
	個人(人)	法人(社)	合計会員数
平成29年度	83,446	2,661	86,107
平成30年度	59,930	2,899	62,829
令和元年度	57,149	3,519	60,668
令和2年度	53,396	3,829	57,225
令和3年度	51,151	3,691	54,842

※平成30年度から規則変更により集計方法を変更しています。

▶ 活動資金の実績状況

年 度	実 績 額(円)			目 標 額(円)
	個 人	法 人	合計額	
平成29年度	138,899,983	17,380,450	156,280,433	146,000,000
平成30年度	163,801,465	22,141,835	185,943,300	146,000,000
令和元年度	131,040,637	34,639,871	165,680,508	146,000,000
令和2年度	126,646,963	41,930,067	168,577,030	146,000,000
令和3年度	152,582,737	42,600,311	195,183,048	146,000,000



活動資金の贈呈式（宇多津町）



会費募集の風景（高松市）



災害救護

災害にあった人々の救護は、日本赤十字社本来の使命に基づいた最も重要な事業の一つです。

昭和22年制定の災害救助法により、日本赤十字社は災害に際して救助の協力を義務づけられ、さらに昭和36年制定の災害対策基本法では日本赤十字社を指定公共機関として指定し、災害救護に対する準備体制を確保しておくよう定められています。

当支部では、これらの法律に基づく規則や計画に従い、常備救護班を編成し、有事即応の体制を整えるほか、救護員訓練などにより、医療救護活動の実施に万全を期するとともに、赤十字奉仕団、防災ボランティアの協力のもと、幅広い救護活動の展開が可能となるように努めました。

救護班

常備救護班として8個班を、県内赤十字施設（高松赤十字病院・香川県赤十字血液センター）との連携のもとに編成しており、災害の規模に応じて必要な救護班を派遣できるようにしています。この救護班の編成基準と要員確保状況は、次のとおりです。

▶救護班の編成（1班7人編成 8個班）

（単位/人）

区分	職種	医師(班長)	看護師長	看護師	薬剤師	主事	計
1個班の編成基準		1	1	2	1	2	7
常備要員数		8	8	16	8	16	56

※必要に応じて、助産師・特殊要員を加えます。また、血液供給要員3人、災害対策本部支援員2人を任命しています。

▶dERUチームの編成（1チーム14人編成 4チーム）

（単位/人）

区分	職種	医師	看護師長	看護師	薬剤師	助産師	主事	計
1チームの編成基準		2	2	4	1	1	4	14
常備要員数		8	8	16	4	4	16	56

※医師のうち1人がチームリーダー、主事のうち1人がサブリーダーとなります。



▶災害救護活動

①「令和3年8月11日からの大雨による災害」に対する対応

8月11日から停滞する前線の影響により九州北部や中国地方には発達した雨雲が流れ込み続け、各地で大雨特別警報等が発令されました。この大雨の影響により、各地で河川の氾濫や土砂災害が発生しました。

日本赤十字社においては、発災直後から本社・各支部が総力をあげて被災者の救護に全力を尽くしました。

●令和3年8月11日(水)～19日(木)

第5ブロック管内（広島県・島根県）の災害救助法適用による警戒体制・情報収集に努めました。

●令和3年9月7日(火)

400棟をこえる住家被害を受け、救援物資を配布した広島県支部へ香川県支部の安眠セット498セットを供給しました。



②令和4年福島県沖を震源とする地震（最大震度6強）に伴う対応

●令和4年3月16日(水) 23時36分～18日(金)

宮城県及び福島県の全市町村に災害救助法適用による警戒体制・情報収集に努めました。



災害義援金の取扱状況

国内の災害に対する義援金が当支部に次のとおり寄せられました。

平成30年7月豪雨災害義援金	(13件)	1,530,725円
令和2年7月豪雨災害義援金	(11件)	1,362,097円
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	(9件)	1,352,861円
令和3年島根県松江市大規模火災義援金	(9件)	1,366,332円
令和3年7月豪雨災害義援金	(28件)	436,170円
令和3年台風第9号等大雨災害義援金	(11件)	84,088円
令和3年8月大雨災害義援金	(24件)	260,914円
令和3年長野県茅野市土石流災害義援金	(8件)	257,834円
令和4年3月福島県沖地震災害義援金	(9件)	231,437円
(合計)	(122件)	6,882,458円



災害等による被災者の援護

公益財団法人JKA、全日本遊技事業協同組合連合会の補助金により整備した毛布、緊急セット及び安眠セットを支部倉庫に備蓄するとともに、地域の実情を踏まえて各地区・分区にも分置しています。その他バスタオル、ブルーシートなど、救援物資の効果的な備蓄に努めました。また、応急援護として火災等の被災者の方々に対して、見舞金や弔慰金を贈っています。

▶災害救援物資の備蓄状況 (令和4年3月31日現在)

品名	地区別	令和2年度繰越数	本年度増減数				令和3年度末備蓄数	備蓄場所	
			本社から受入	他県へ管理換	県内へ配分	転用		支部	地区等
毛布 (枚)		4,249	0	0	71	57	4,121	3,550	571
緊急セット (個)		1,022	0	0	44	0	978	876	102
安眠セット (個)		1,332	0	498	0	0	834	756	78
バスタオル (枚)		822	0	0	0	0	822	650	172
ブルーシート (枚)		593	0	0	0	0	593	540	53
タオルケット (枚)		1,990	0	0	0	0	1,990	1,990	0



緊急セット 《1世帯(4人分)》

- ・タオル
- ・軍手
- ・歯ブラシ
- ・携帯ラジオ
- ・懐中電灯
- ・その他20点



安眠セット

- ・マット
- ・耳栓
- ・枕
- ・スリッパ
- ・アイマスク
- ・靴下

▶火災等による被災者や避難所への避難者に対し、次のとおり救援物資を贈りました。

品名	地区別	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
毛布 (枚)		18	9	5	0	15	0	18	0	2	0	4	71
緊急セット (個)		13	5	3	0	9	2	5	3	2	0	2	44
安眠セット (個)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

▶火災等による被災世帯や死亡者に対し、次のとおり見舞金等を贈りました。

(単位/千円)

品名	地区別	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
災害見舞金		200	130	120	20	160	40	440	40	40	20	120	1,330
弔慰金		20	60	40	0	20	20	0	0	20	0	20	200
中国帰国者見舞金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		220	190	160	20	180	60	440	40	60	20	140	1,530



救護員の養成

行事名	月日	参加者	人数	場所	内容
救護員任命式	4月12日(月)	赤十字救護員	60	高松赤十字病院	
救護員研修会	4月12日(月)	赤十字救護員、指導者	52	高松赤十字病院	災害診療録の標準化 J-SPEED について
支部・施設合同救護員主事対象研修会	5月12日(水)	赤十字救護員、指導者 (主事・ロジスティックス)	15	日本赤十字社香川県支部	ステップ2研修(救護業務実習) クロノロジー、EMIS、J-SPEED、救護日誌、避難所日報、無線、衛星携帯 講演：「EMIS操作の基本」 講師：香川県西讃農業改良普及センター 香川県DMAT災害・危機管理対応マネージャー 長谷秀彦
こころのケア研修	7月1日(木)	赤十字救護員、指導者	34	高松赤十字病院	講義(日本赤十字社のこころのケア、災害時のストレスとストレス反応、被災者のケア、救護員のケア)、グループワーク、ロールプレイ
支部・施設合同赤十字救護員基礎研修会	第1回 9月7日(火)	赤十字救護員候補者・研修医、指導者	※	高松赤十字病院	講義(赤十字の災害救護内容・法的根拠、災害医療概論、救護業務で活用するシステムや診療録)、救護所設営机上演習
	第2回 10月6日(水)	赤十字救護員候補者・研修医、指導者	※	香川県青年センター	基礎行動、救護資機材取扱(担架・簡易ベッド・発電機・医療資機材)救護所設営(エアテント・パイプテント)トリアージ救護シミュレーション(救護所診療、避難所巡回診療、避難所アセスメント)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



▶DRASHテント(大規模災害等が発生した時に迅速に被災地域に搬入できるフレーム一体式テント)を用いた救護員実践研修の実施

行事名	月日	参加者	人数	場所	内容
救護員実践研修会	6月18日(金)	赤十字救護員、指導者	※	香川県青年センター	DRASHの運用、学科研修・実技研修の留意事項、グループワーク、DRASHの展開実習等、救護資機材操作、現場救護所シミュレーション
DRASH展開訓練(救護員実践研修会の中止に伴い、救護資機材整備点検のため、支部のみで実施)	6月18日(金)	支部職員、防災ボランティアリーダー	9	香川県青年センター	DRASHの展開実習、救護資機材操作

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止





日本赤十字社中国・四国各県支部合同訓練等への参加



行事名	月日	参加者	人数	場所	内容
中国・四国各県支部合同災害救護訓練 (香川県支部主催)	11月12日(金) (本部立上げ訓練) 11月13日(土) (実動訓練)	本部要員	13	香川県社会福祉総合センター	【第1部】 情報収集・伝達訓練、県支部災害対策本部設営訓練 (1) 日赤香川県支部災害対策本部設営訓練 (2) 通信訓練(電話、ファックス、メール) (3) 情報収集・伝達訓練 ア 香川県へのリエゾン派遣 イ EMIS開設、入力 ウ 代表支部、各県支部への情報伝達 エ 第5ブロック支部災害救護活動支援の申し合わせに基づき、徳島県、愛媛県支部から本部要員の派遣依頼 【第2部】 参集訓練、県支部災害対策本部運営訓練、救護活動訓練 (1) 支部災害対策本部運営訓練 (2) 情報伝達訓練 (3) 参集訓練 ア 第5ブロック各県支部災害車両による参集訓練 イ 海上保安部と日赤との協定に基づき、救護員の海上輸送訓練 (4) 避難所アセスメント、巡回診療、救護所開設 ア 四番丁小学校跡施設、高松市二番丁コミュニティセンター、高松市屋島西コミュニティセンター、直島町西部公民館でのアセスメント実施 イ 避難所情報の報告 EMIS、J-SPEED、無線、電話、メール等による情報交換 (5) 全体会議<Web>訓練
		日赤災害医療コーディネーター	3	日本赤十字社香川県支部	
		中国・四国各県支部救護員	85	高松赤十字病院	
		本社、中国・四国各県支部事務局長	11	香川県立高松高等学校	
		コントローラースタッフ	12	四番丁小学校跡施設(体育館)	
		第六管区海上保安部	12	高松市二番丁コミュニティセンター	
赤十字ボランティア・地域住民等	292	高松市屋島西コミュニティセンター 直島町西部公民館			



行事名	月日	参加者	人数	場所	内容
災害対策本部要員研修会	令和4年 2月14日(月) ~15日(火)	本部要員スタッフ	※	日本赤十字社岡山県支部	講義(災害救護リソース、通信の確保、災害対策本部の機能と役割、本部の運営、災害時の記録)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



他機関の防災訓練等への参加

行事名	月 日	参加者	人数	場 所	内 容
香川県総合防災訓練	9月 5日(日)	赤十字防災ボランティア	※	香川県消防学校	dERU2基の展開、救護所開設、トリアージ、応急医療、負傷者搬送、無線交信、医薬品搬送、新型コロナウイルス疑い患者の対応
香川県石油コンビナート総合防災訓練	11月 2日(火)	赤十字救護員	9	三菱ケミカル(株)香川事業所	救護所開設、トリアージ、応急医療、負傷者搬送
関係機関合同による災害支援物資輸送訓練	11月18日(木)	赤十字救護員	2	瀬戸マリーナ～箱浦ビジターハウス	災害支援物資等の海上輸送、救急法講習会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



赤十字防災ボランティアの養成

災害救護活動のノウハウを習得し、災害時等に日本赤十字社が行う活動（情報収集、炊き出し、救援物資の輸送・配布など）や個人や民間レベルでの助け合い活動を行う赤十字防災ボランティアを養成しました。

▶香川県赤十字防災ボランティア活動状況

登録人員（団体） 204人（個人登録）、4団体（団体登録）

行事名	月 日	参加者	人数	場 所	内 容
救援物資の搬送	6月 7日(月) 6月 8日(火)	赤十字防災ボランティア等	5	香川地域保健活動センター 赤帽倉庫	香川地域保健活動センターから赤帽倉庫への救援物資搬送
防災ボランティア基礎研修会	6月13日(日)	赤十字防災ボランティア等	※	日本赤十字社香川県支部ボランティア室	赤十字防災ボランティア活動のガイドラインの説明 平成30年7月豪雨災害活動報告、災害救護装備・支部倉庫見学 非常食の炊き出し、災害時に役立つ応急手当
関係機関合同による災害支援物資輸送訓練	令和4年 1月22日(土)	赤十字防災ボランティア等	※	香川県社会福祉総合センター	赤十字防災ボランティア活動のガイドラインの説明 災害ボランティア活動報告、災害救護装備・支部救護車両見学 非常食の炊き出し、災害時に役立つ応急手当、ロープワーク

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



臨時救護

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により依頼はありませんでした。



「赤十字地域防災セミナー」の実施

大規模災害から人々のいのちを守り、その被害を最小限に抑えるためには、日頃から防災・減災に取り組むとともに、災害発生時には、地域の人たち自らが迅速かつ確に対応し、速やかに復旧・復興につなげることができる強靱な地域コミュニティが重要です。

このため、地域コミュニティにおける防災教育の一層の普及推進を図る場として、赤十字地域防災セミナーを開催しました。

体験内容

- 災害ボランティアセンター運営訓練
- クロスロードゲーム
- 災害に役立つ応急手当
- その他（気象台等の基調講演）
- ドローイングチャレンジ
- 災害エスノグラフィー
- 避難所運営ゲーム

月 日	地区・区分	対象者	人数
8月20日(金)	高松市地区	地域住民・こども	※
10月22日(金)	東かがわ市地区	奉仕団員	22
12月14日(火)	琴平町分区	自治会、民生委員、社協職員	30
1月30日(日)	丸亀市地区 飯山南分団	婦人会、婦人防火クラブ、 コミュニティ部会員	※
2月22日(火)	さぬき市地区	奉仕団員(婦人会)	※
3月 6日(日)	観音寺市地区 大野原分団	奉仕団員(婦人会)、 自治会長、町社協職員	9
3月16日(水)	まんのう町分区 吉野分団	日赤吉野分団、社協吉野支部、吉野地区 連合自治会、まんのう町国際交流協会 等	※
合計3回		合計61人	



日本赤十字社



香川県社会福祉協議会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



炊き出し研修



エスノグラフィー (追体験)



身近な応急手当



高松地方気象台

「防災とボランティアのつどい」～親子で学ぼう防災、広げよう減災～

「さぬきこどもの国」にて、「防災とボランティアのつどい～親子で学ぼう防災、広げよう減災～」を開催しました。

このイベントは、阪神・淡路大震災の翌年から、日本赤十字社香川県支部が香川県災害ボランティア連絡協議会の構成団体と共催で、災害への備えや災害の爪痕の記憶を忘れないための追悼のイベントとして開催し、東日本大震災の5年後からは、開催時期を3月に移して毎年続けています。

必ずやってくる大災害に備え、特にお子さんをもつ若年層の家族をターゲットに「防災・減災」の考え方を普及させるため、救護活動や防災活動の写真展示のほか、親子で学ぶ体験ブースコーナーでは、防災ボードゲームや工作、積木、AED体験など、親子で楽しく防災の意識を高めてもらえるように工夫を凝らしました。

- 日 時/令和4年3月5日(土) 10:00～15:00
- 場 所/さぬきこどもの国(高松市香南町)
- 参加者/一般来場者 535人
- 内 容/活動パネル展示……防災関連団体の活動をわかりやすく展示
学べる体験ブース…参加団体が防災をテーマにした楽しい体験コーナー





国際活動

日本赤十字社は、世界192の国と地域の赤十字・赤新月社と連携して、世界各地において民族や宗教の対立等により発生する人道的な危機や、地震・洪水等の自然災害による難民、国内避難民等に対する「国際救援」を行います。

また、災害や保健衛生上の脅威にさらされる開発途上国の赤十字社が実施するプログラムへの支援を行う「開発協力」を中心に、要員の派遣や資金、物資の援助を進めています。

ロシア軍の武力侵攻によるウクライナ人道危機に対しては、中立を貫き、「ウクライナ人道危機救援金」の募集を行うとともに、「戦争にもルールがある」という国際人道法の認識を社会に広めていく活動を行っています。

国際救援

▶国際救援金の取扱状況

「NHK海外たすけあい」募金	(869件)	4,515,374円
海外救援金（地域指定なし）	(2件)	12,241円
中東人道危機救援金	(0件)	0円
バングラデシュ南部避難民救援金	(1件)	3,000円
2021年ハイチ地震救援金	(2件)	14,883円
アフガニスタン人道危機救援金	(4件)	22,311円
トンガ大洋州噴火津波救援金	(17件)	314,556円
ウクライナ人道危機救援金	(145件)	7,486,240円
(合計)	(1,040件)	12,368,605円



プシェミシル駅で避難してきた方に医療支援を提供する
ポーランド赤十字社スタッフ©オランダ赤十字社



負傷された方を救護するICRCスタッフ©ICRC



避難してきた方への応急手当や
こころのケア©スロバキア赤十字社

開発協力

▶「NHK海外たすけあい」キャンペーンの実施

海外で発生した災害や紛争による被災者等を支援するとともに開発途上国の開発協力を行うために、日本赤十字社とNHKが共催し、1983年に第1回のキャンペーンを実施して以来、毎年12月にNHKの放送を通じて広く募金を呼びかけています。

香川県支部では、12月4日(土)に高松駅前、高松丸亀町壱番街前ドーム広場付近の高松市内2カ所において青少年赤十字メンバー、高松市赤十字奉仕団員等で街頭募金を行いました。

12月1日(水)にはNHK高松放送局にてオープニングセレモニーを行いました。

- オープニングセレモニー
【青少年赤十字加盟校】
高松市立一宮幼稚園



- 街頭募金参加団体
【青少年赤十字加盟校】
高松市立下笠居小学校
高松市立香東中学校



善通寺市内での街頭募金（香川県立善通寺第一高等学校）

【赤十字奉仕団】

- 高松市赤十字奉仕団
- 香川県青年赤十字奉仕団
- 香川短期大学学生赤十字奉仕団
- 高松大学・高松短期大学学生赤十字奉仕団
- 四国医療福祉専門学校学生赤十字奉仕団
- 穴吹学園学生赤十字奉仕団
- 香川県立保健医療大学学生赤十字奉仕団

▶アジア・大洋州給水・衛生災害対応キット整備事業

国際赤十字・赤新月社連盟は、災害発生時に迅速に給水・衛生活動が展開出来るよう、「給水・衛生災害対応キット」を開発し、頻りに災害に見舞われる国や地域に予めこれらの資機材を備蓄し、現地赤十字社のスタッフやボランティアの研修を行っています。

香川県支部は中国・四国各県の支部と共同で資金提供し、この事業に参加しています。

アジア・大洋州給水・衛生災害対応キット整備事業資金の拠出
(中国・四国各県支部共同事業 拠出総額)



衛生知識の普及啓発活動を行う
カンボジア赤十字社職員©日本赤十字社



洪水災害の対応にあたる
バングラデシュ赤新月社職員©日本赤十字社

685,404円
7,000,000円



救急法等の講習

赤十字は、人間の苦痛を予防軽減し、生命と健康を守り、人間の尊厳を確保するという赤十字の理念に基づいて、広く一般の方々を対象とした救急法等の講習会を実施しています。

当支部では令和3年度に、次のとおり各地域で講習会を実施しました。

救急法

思わぬ事故や災害にあった人、急病になった人を正しく手当てし、医師や救急隊員に引き継ぐまでの応急手当として、「心肺蘇生・AED」「止血」「骨折の手当」「傷病者の搬送」などを内容とする講習会を次のとおり実施しました。

▶救急員養成講習

対象・主催等	受講者数	養成者数
穴吹医療大学校 看護学科2年生、歯科衛生学科3年	96	96
香川県警察学校 初任科第91期短期・長期生	55	54
香川県立高松南高等学校 看護科2年生	33	33
香川県立飯山高等学校 看護科1・2年生	57	56
香川短期大学 生活介護福祉専攻1・2年生、食物栄養専攻1・2年生	12	12
四国医療専門学校 スポーツ医療学科1年生	16	16
四国こどもおとなの医療センター附属 善通寺看護学校 看護科2年生	85	85
尽誠学園高等学校 衛生看護科2年生	55	55
藤井学園寒川高等学校 看護専攻科1・2年生	37	37
日本赤十字社香川県支部	3	3
高松赤十字病院	21	21
計11回	470	468



▶基礎講習

対象・主催等	受講者数	修了者数
穴吹リハビリテーションカレッジ 理学療法学科1年生	44	44
英明高等学校 福祉科2・3年生	36	36
香川県サッカー協会	13	13
四国医療専門学校 (4回)	81	81
高松赤十字病院	21	21
支部教室 (3回)	59	59
その他 (9回、救急法救急員養成講習会等含む)	430	429
計20回	684	683





▶ 短期講習

対象・主催等	受講者数	対象・主催等	受講者数
綾川町立昭和小学校	25	生活協同組合コープかがわ	16
綾川町立陶小学校	30	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター	55
綾川町立滝宮小学校	33	赤十字フェスタ	55
一般社団法人香川県指定自動車学校協会 (3回)	90	せとうち観光専門職短期大学	14
一般社団法人香川宅建	66	高松市浅野コミュニティセンター	20
宇多津町立宇多津中学校 (2回)	166	高松市教育委員会	45
大手前丸亀高等学校 (2回)	97	高松市子育て支援課	52
オートモールジャパン株式会社	16	高松市赤十字奉仕団川添分団	6
香川県教育委員会事務局保健体育課	23	高松市林コミュニティセンター	20
香川県教育センター	4	高松市立浅野小学校	25
香川県警察本部 (31回)	769	高松市立一宮中学校 (2回)	111
香川県森林林業協会	15	高松市立植田小学校	13
香川県立香川中部養護学校	50	高松市立太田小学校	40
香川県立香川東部養護学校	40	高松市立太田中学校 (2回)	247
香川県立香川丸亀養護学校	120	高松市立太田南小学校	47
香川県立笠田高等学校	114	高松市立大野小学校	30
香川県立琴平高校 (2回)	203	高松市立香川第一中学校 (2回)	195
香川県立高松桜井高等学校 (3回)	280	高松市立立川岡小学校	20
香川県立志度高等学校 (3回)	127	高松市立立川島小学校	30
香川県立高瀬高等学校	125	高松市立立川添小学校	30
香川県立高松高等学校	60	高松市立木太小学校	30
香川県立高松高等学校定時制	22	高松市立木太中学校 (4回)	259
香川県立高松商業高等学校	42	高松市立木太北部小学校	26
香川県立高松東高等学校 (2回)	223	高松市立木太南小学校	40
香川県立高松南高等学校	50	高松市立協和中学校 (2回)	202
香川県立高松養護学校 (2回)	52	高松市立西香小学校	30
香川県立津田高等学校 (2回)	96	高松市立香南中学校	77
香川県立農業経営高等学校 (2回)	60	高松市立三溪小学校	25
香川県立丸亀高等学校 (2回)	351	高松市立塩江小学校	15
香川県立丸亀城西高等学校	28	高松市立紫雲中学校	35
香川県立三木高等学校	50	高松市立下笠居小学校	23
かがわ総合リハビリテーションセンター	18	高松市立新番丁小学校	45
香川大学教育学部附属高松小学校	30	高松市立立河小学校	29
香川大学教育学部附属特別支援学校	30	高松市立高松第一小学校・中学校 (2回)	112
香川大学 創造工学部	30	高松市立花園小学校	20
株式会社富士クリーン	30	高松市立林小学校	40
川崎重工業株式会社	25	高松市立仏生山小学校	30
観音寺市栗井公民館	10	高松市立古高松小学校	30
観音寺市大野原町赤十字地域防災セミナー	9	高松市立古高松中学校 (3回)	186
観音寺市立大野原小学校	31	高松市立牟礼南小学校	15
観音寺市立観音寺中学校 (3回)	88	高松市立栗林小学校	50
居宅介護支援事業所 一合一笑	13	高松赤十字病院 (3回)	30
公益財団法人 かがわ健康福祉機構	16	特定非営利活動法人どんぐりネットワーク	10
公益財団法人高松市スポーツ協会	27	特別養護老人ホームさんさん荘	30
交通安全協会 (2回)	169	どりいみんぐアカデミー	23
ことでんバス株式会社	20	直島町立直島小学校	16
琴平町赤十字地域防災セミナー	30	直島町立直島中学校	58
琴平町立榎井小学校	16	日本赤十字社岡山県支部 (オンライン講習)	8
琴平町立象郷小学校	16	日本赤十字社香川県支部 (4回)	82
坂出市立金山小学校	14	三豊市赤十字奉仕団豊中分団	15
坂出市立加茂小学校	36	東かがわ市赤十字奉仕団福栄分団赤十字地域防災セミナー	22
坂出市立林田小学校	22	東かがわ市立大川中学校 (2回)	100
桜町マンション防災会 (3回)	30	東かがわ市立白鳥中学校	64
さぬき市赤十字奉仕団石田分団	24	防災とボランティアのつどい	535
さぬき市立さぬき南中学校 (2回)	135	丸亀市立郡家小学校	49
さぬき市立志度中学校 (2回)	117	丸亀市立城北小学校	21
四国電力送配電株式会社 (2回)	78	丸亀市立東中学校 (3回)	207
四国百名山会	25	丸亀市立南中学校 (3回)	218
シニア向け賃貸住宅 翔鶴	25	三木町立立田小学校	28
四変テック株式会社 (2回)	70	三豊市立仁尾中学校	40
障害者支援施設 サン未来	15	三豊市立三野津中学校 (2回)	80
高齢者複合施設 すずかけの径	20		
		計198回	8,672



赤十字救急法指導員養成講習会の実施

赤十字の理念と使命を理解し、十分な知識と技術をもった実践的な指導員を養成し、本県における標記講習の普及並びに指導体制の強化を図ることを目的に指導員養成講習会を実施しました。

- 日 時／令和3年11月23日(火・祝)・27日(土) ……事前研修会
 令和4年 1月 8日(土)～10日(月・祝) ……養成講習会
 1月15日(土)～16日(日) …… //
 令和4年 2月26日(土)～27日(日) ……事後研修会
- 場 所／日本赤十字社香川県支部 ボランティア室等
- 養成人員／16人



水上安全法

水の事故から人命を守るため、「泳ぎの基本」「水の事故防止」「溺者の救助」「一次救命処置と応急手当」などを内容とする講習会を次のとおり実施しました。

▶救助員養成講習

対象・主催等	受講者数	修了者数
香川県消防学校 消防学生 及び 支部主催教室 7月コース (プール)	30	30
支部教室 11月コース (プール)	13	13
支部教室 津田の松原 (海)	11	11
計3回	54	54

▶短期講習

対象・主催等	受講者数	対象・主催等	受講者数
綾川町立滝宮小学校 (6回)	351	善通寺市立東部小学校 (2回)	86
綾川町立羽床小学校 (2回)	61	高松市立三溪小学校 (3回)	167
香川県地区小型船安全協会	62	高松市立多肥小学校 (2回)	80
香川県B&G財団連絡協議会	26	父母ヶ浜海水浴場	4
香川県立龔学校 (3回)	64	直島町立直島小学校	42
公益財団法人高松市スポーツ協会 (5回)	50	日本赤十字社香川県支部 (2回)	21
公益財団法人多度津町文化体育振興事業団	31	丸亀市立東中学校 (3回)	207
琴平町立榎井小学校 (3回)	94	三豊市立二ノ宮小学校 (3回)	63
善通寺市立中央小学校 (2回)	67	計41回	1,476



赤十字水上安全法指導員養成講習会の実施

赤十字の理念と使命を理解し、十分な知識と技術をもった実践的な指導員を養成し、本県における標記講習の普及並びに指導体制の強化を図ることを目的に指導員養成講習会を実施予定としていました。

- 日 時／令和3年 5月22日(土) …………… 事前研修会
 令和3年 7月 9日(金)～11日(日) …………… 養成講習会(プール)
 8月23日(月)～24日(火) …………… // (海)
 令和3年10月30日(土)～31日(日) …………… 事後研修会
- 場 所／香川県消防学校プール等
- 養成人員／9人



健康生活支援講習

健康増進・介護予防などへの社会の関心が高まる中、社会のニーズに柔軟に対応しつつ、自立に向けた高齢者介護の知識・技術などを広く普及しています。この講習では、高齢者の介護の方法のほか、高齢期を迎える前からの健康管理、地域での高齢者支援などを内容としています。

また、災害時高齢者生活支援講習においては、被災した高齢者の避難所生活に焦点をあてて、不自由な生活から高齢者を守るために、誰もが知っていただきたい知識や支援技術についてご紹介しています。



▶ 支援員養成講習

対象・主催等	受講者数	修了者数
株式会社ハッピーライフ愛	9	9
尽誠学園高等学校 衛生看護科2年生	12	12
支部教室	28	28
計3回	49	49

▶ 短期講習

対象・主催等	受講者数
綾川町赤十字奉仕団羽床上分団 (2回)	36
一宮西部賀鶴寿会	10
香川県立農業経営高等学校 (3回)	39
さぬき市赤十字奉仕団石田分団 (2回)	50
さぬき市赤十字奉仕団造田分団 (2回)	43
赤十字奉仕団“ほっと” (4回)	71
高松市赤十字奉仕団古高松分団	14
高松市古高松コミュニティセンター	21
多度津町保健センター	32
和みの部屋	9
日本赤十字社香川県支部	29
まんのう町赤十字奉仕団長炭分団 (2回)	52
計21回	406





幼児安全法

子どもを社会の財産として大切に育てるために、「子どもに起こりやすい事故の予防と手当」「家庭内での看病の方法」を中心として次のとおり講習会を実施しました。

▶ 支援員養成講習

対象・主催等	受講者数	修了者数
穴吹パティシエ福祉カレッジ 保育食育学科3年生、子ども保育学科2年生	14	14
計1回	14	14

▶ 短期講習

主催等	受講者数
太田百華幼稚園	14
香川県教育センター	60
株式会社マミーズファミリー (4回)	42
観音寺ファミリー・サポート・センター (4回)	22
虎岳保育園 (2回)	28
子育てネットひまわり	6
さぬき市ファミリー・サポート・センター	9
さぬきっずコムシアター (2回)	25
たかまつファミリー・サポート・センター (4回)	62
たけのこキッズ (2回)	80
西春日保育所ピノキオ子育て支援センター	7
日本赤十字社香川県支部	9
二番丁幼稚園	8
東かがわ市保健課健康づくりグループ (2回)	16
ファミリー・サポート・センターうたづ	7
丸亀市飯山地域子育て支援センター	4
丸亀市ファミリー・サポート・センター (2回)	25
みとよファミリー・サポート・センター (3回)	39
わははネット (2回)	76
わはは・ひろば香西	6
わはは・ひろば高松	5
計38回	550





赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字の使命とする人道的な諸活動を、様々な領域で実践しようとする方々により結成されたボランティア組織です。

この赤十字奉仕団は、市町の地域ごとに組織されている「地域奉仕団」、青年や学生で組織されている「青年奉仕団」、救急法等のボランティア指導員、アマチュア無線等特殊な技術をもった方々で組織されている「特殊奉仕団」によって構成されています。

これらの赤十字奉仕団は、災害時の救護活動、献血の推進活動、救急法等の講習普及活動、社会福祉活動など地域に根差した活動を県内各地で展開しています。

地域奉仕団

地域奉仕団は、赤十字の基盤となるボランティア組織として、赤十字事業の推進に欠くことのできない存在であり、各地域においてそれぞれの立場で奉仕活動を展開しています。

▶組織及び団員数 17団(8市9町) 11,239人

区分	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
分団数	41	10	11	8	15	10	7	9	10	3	46	170分団
団員数	1,106	1,986	1,046	358	369	290	420	912	919	85	3,748	11,239人

▶主な活動内容

- ①会員増強に関する活動
- ②災害救護に関する活動
- ③救急法、健康生活支援講習等の講習普及に関する活動
- ④赤十字病院における活動
- ⑤献血推進に関する活動
- ⑥青少年赤十字の加盟促進、育成に関する活動
- ⑦社会福祉に関する活動
- ⑧その他



▶研修行事の開催と参加状況

主催	行事名	月日	場所	参加者(対象)	参加人数
本社	赤十字奉仕団中央委員会	5月28日(金)	東京都・日赤本社 (WEB会議)	支部委員会委員長	1
	赤十字ボランティア・リーダー研修会	10月28日(木)~29日(金)	東京都・日赤本社 (WEB会議)	地域・特殊・青年奉仕団	1
支部	赤十字奉仕団県支部委員会	5月20日(木)	日赤香川県支部	支部委員、支部職員	16
	赤十字奉仕団委員長会議	6月9日(水)	香川県社会福祉総合センター	各市町委員長・副委員長等地区区分担当者	55
	世界救急法の日記念イベント	9月11日(土)	香川県社会福祉総合センター	各地区・分区奉仕団員等	※
	赤十字奉仕団県支部委員会	9月15日(水)	日赤香川県支部	支部委員、支部職員	※
	赤十字奉仕団ボランティア・リーダー研修会	12月3日(金)	香川県社会福祉総合センター	各地区・分区奉仕団員	43
	NHK海外たすけあいキャンペーン	12月4日(土)	高松市内	高松市赤十字奉仕団	37
	赤十字奉仕団基礎研修会	2月16日(水)	香川県社会福祉総合センター	各地区・分区奉仕団員	※

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

▶研修会の開催

○委員長会議の開催

- 日 時/令和3年6月9日(水) 13:00~15:00
- 場 所/香川県社会福祉総合センター 7階大会議室
- 参 加 者/各市町奉仕団委員長、副委員長、地区・分区担当者 55人
- 内 容/赤十字奉仕団活動報告、モデル奉仕団活動報告等



○赤十字奉仕団ボランティア・リーダー研修会

- 日 時/令和3年12月3日(金)
- 場 所/香川県社会福祉総合センター 7階第二中会議室
- 参 加 者/県内赤十字奉仕団中堅リーダー及び将来リーダーとなる者 43人
- 研修内容/赤十字事業 映写「赤十字この1年 令和2年度」
講演 「健康に過ごすための生活習慣について」
講師 高松赤十字病院 糖尿病看護認定看護師 横山知子





○赤十字奉仕団基礎研修会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

- 日 時／令和4年2月16日(水) 9:30~12:00
- 場 所／香川県社会福祉総合センター1階コミュニティホール
- 参加予定者／各市町赤十字奉仕団員等 103人
- 研 修 内 容／赤十字事業 映写「赤十字この1年 令和2年度」
講 演 「ほのぼののふれあい嘸」
講 師 落語家 桂こけ枝

○地区・分區別赤十字奉仕団研修会

赤十字奉仕団員としての知識を深め、奉仕団活動の一層の進展を図ることを目的に次のとおり研修会を実施しました。また、災害時に備え、地域の中で赤十字防災ボランティアへの理解を深めるとともに、防災活動の浸透を図る研修も実施しました。

- <研修内容> ○赤十字とボランティア ○赤十字と災害救護 ○赤十字防災ボランティア
○非常食の炊き出し ○応急手当等

▶モデル奉仕団の指定

明るく住みよい社会を築きあげていくために必要な活動を展開している赤十字奉仕団において、その活動をより充実させ活性化させていく方策として、下記の活動を重点に推進する奉仕団をモデル奉仕団として毎年3団を指定しています。

指定を受けた奉仕団が、効果的な活動の進め方を探求するとともに、他の奉仕団を啓発し、活動の充実強化に寄与することを目的としています。

- 指 定 期 間／3年間
- 指定奉仕団数／毎年3団以内
- 重点活動内容／①地域高齢者支援活動 ②児童の健全育成活動
③非常災害に対する地域防災活動
④会員増強に関する特色ある活動 ⑤その他必要な活動

指定年度	奉仕団名	活動内容
令和元年度	東かがわ市赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動 会員増強に関する特色ある活動
	まんのう町赤十字奉仕団吉野分団	非常災害に対する地域防災活動
令和2年度	さぬき市赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動
令和3年度	坂出市赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動
	直島町赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動 会員増強に関する特色ある活動



青年奉仕団

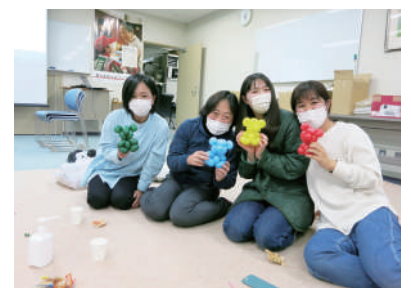
青年奉仕団は将来の赤十字活動の中心となるべき青年や学生によって組織され、ボランティア活動を通して赤十字思想の理解と実践に取り組んでいます。

▶組織及び団員数 9団 406人

団 名
香川県青年赤十字奉仕団
さぬき福祉専門学校学生赤十字奉仕団
香川短期大学学生赤十字奉仕団
高松大学・高松短期大学学生赤十字奉仕団
四国医療福祉専門学校学生赤十字奉仕団
四国学院大学学生赤十字奉仕団
香川大学学生赤十字奉仕団
穴吹学園学生赤十字奉仕団
香川県立保健医療大学学生赤十字奉仕団
計 9 団

▶主な活動内容

- ①献血キャンペーン活動の実施
- ②海外たすけあいキャンペーン活動
- ③支部実施行事（各種イベント等）への協力
- ④義援金等の募集活動、団員研修・交流
- ⑤救護訓練等への参加





▶ 研修行事の開催と参加状況

主催	行事名	月日	場所	参加人数
本社	青年赤十字奉仕団全国協議会・赤十字ユース委員会	4月24日(土)～25日(日)	東京都・日赤本社 (WEB会議)	2
ブロック	中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	6月 6日(日)	高知県・日赤高知 (WEB会議)	2
	中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団研修会	9月20日(月・祝)	島根県・日赤島根 (WEB開催)	69
支部 ・ 協議会	青年赤十字奉仕団香川県支部連絡協議会総会	4月17日(土)	香川県社会総合福祉センター	48
	防災ボランティア基礎研修会	6月13日(日)	日赤香川県支部	※
	1日血液センター所長イベント	7月上旬	献血ルーム他	※
	リラクゼーション研修会	7月 4日(日)	日赤香川県支部	※
	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター	8月 7日(土)～ 8日(日)	五色台少年自然センター	※
	香川県総合防災訓練	9月 5日(日)	香川県消防学校	※
	世界救急法の日記念イベント	9月11日(土)	香川県社会総合福祉センター	※
	防災キャンプ in 南川	9月25日(土)～26日(日)	さぬき市南川自然の家	※
	リラクゼーション研修会	10月 2日(日)	日赤香川県支部	※
	NHK 海外たすけあいキャンペーン	12月 4日(土)	高松市内	※
	全国学生クリスマス献血キャンペーン	12月25日(土)	イオンモール高松	8
	防災ボランティア研修会	1月22日(土)	香川県社会総合福祉センター	※
	防災とボランティアのつどい	3月 5日(土)	さぬきこどもの国	3

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



特殊奉仕団

▶ 香川県アマチュア無線赤十字奉仕団

アマチュア無線の特殊技能を持った人たちによって組織されているアマチュア無線奉仕団は、災害等の非常事態発生の際に連絡網を断たれた被災地の情報収集、伝達など通信の確保に協力するための訓練を実施しており、その活動状況は次のとおりです。

- ①組織及び団員数 1団 29人
- ②主な活動内容
 - 県内無線電波の伝播テスト及び電波形式でのテキスト送受訓練
 - 非常通信協議会の非常通信訓練への参加
 - 香川県総合防災訓練参加



▶ 香川県赤十字安全奉仕団

救急法等ボランティア指導員によって組織され、人道を基本理念とする赤十字精神に基づき、事故防止並びに安全思想の普及を図るため、各種講習会において主体的な指導にあたっています。その活動状況は次のとおりです。

- ①組織及び団員数 1団 146人
- ②主な活動内容
 - 救急法等講習普及活動
 - 支部実施行事 (各種イベント等) への協力
 - 団員研修・交流



◎ 赤十字安全奉仕団一泊研修会 (防災キャンプ 2021) の開催

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

- 日 時 / 令和3年9月25日(土)～26日(日)
- 場 所 / さぬき市南川自然の家
- 内 容 /
 - ・赤十字奉仕団員同士の交流と親睦
 - ・発電機取扱・ロープワークの習得
 - ・作って食べよう (サバイバル飯・竹から作る流しそうめん)
 - ・自然を探そう





○赤十字安全奉仕団研修会開催

- 日 時／令和3年12月11日(土)
- 場 所／香川県社会福祉総合センター7階 第一中会議室
- 内 容／①講習普及と個人情報 ②HUG(避難所運営ゲーム) 負傷者バージョン
- 参 加 者／27人



▶香川県赤十字奉仕団“ほっと”

健康生活支援講習のリラクゼーション技術を勉強した人によって組織され、定期的に高齢者福祉施設入所者等にリラクゼーションのケアサービスを提供しています。

わずかな時間そばに付き添い、静かに話を傾けスキンシップをすることで、相互の心身のやすらぎやストレスの緩和につながります。温かい両手と笑顔と共感の心で実践活動を行っています。

- ①組織及び団員数 1団 41人
- ②主な活動内容
 - 施設へのケアサービス提供
 - 団員研修会の開催(2回、参加者19人)
 - 団員の増強とケアサービスの普及、充実
 - 支部実施行事(各種イベント等)への協力



▶香川県青少年赤十字賛助奉仕団

青少年赤十字加盟校を退職された指導者によって組織されている青少年赤十字賛助奉仕団は、加盟校在籍中の経験を生かした青少年赤十字の普及、加盟促進への協力活動等を行っています。

- ①組織及び団員数 1団 86人
- ②主な活動内容
 - 青少年赤十字の普及、加盟促進への協力
 - 青少年赤十字加盟校への協力
 - 香川県教育委員会への働きかけ
 - 校長会・園長会等への働きかけ
 - 地域赤十字奉仕団との連携



▶香川県レスキューサポートバイク赤十字奉仕団

災害時に赤十字ボランティア活動を実施するためバイク愛好家により結成し活動しております。

大地震等の災害に備え、小回りの利くバイクの機動力を生かし、救援活動や情報収集をするため、訓練等を実施して緊急時に備えています。

- ①組織及び団員数 1団 15人
- ②主な活動内容
 - 支部実施行事(各種イベント等)への協力
 - 団員研修・交流





青少年赤十字

青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神に基づいて世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、青少年自身が日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的として、学校（幼稚園・保育所）内に組織されています。

日本全国で保育所から高等学校まで約1万4千校、340万人余りのメンバーが加盟し、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」という3つの実践目標と、「気づき、考え、実行する」という態度目標を掲げ活動しています。

県内の加盟状況等は、次のとおりです。

▶加盟状況

区分	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校数	38	152	153	69	42	9	463
メンバー数	3,398	12,695	38,580	21,517	17,091	833	94,114



▶加盟校（所・園）一覧表（※は、新規加盟校）

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
高松市立瀬戸内保育所	14	高松市立弦打保育所	148	こぶし花園保育園	96
高松市立扇町保育所	108	高松市立鬼無保育所	147	坂出市立川津愛児園	76
高松市立宮脇保育所	43	高松市立三谷保育所	110	坂出市立江尻保育所	55
高松市立松島保育所	126	高松市立多肥保育所	132	坂出市立西部保育所	24
高松市立福岡保育所	33	高松市立西植田保育所	31	坂出市立南部保育所	127
高松市立桜町保育所	155	高松市立東植田保育所	23	坂出市立加茂保育所	60
高松市立田村保育所	46	高松市立大野保育所	183	育愛館	132
高松市立鶴尾保育所	7	高松市立川東南保育所	9	豊城福祉会坂出保育園	84
高松市立太田保育所	126	高松市立国分寺北部保育所	114	林田保育園	102
高松市立木太保育所	141	高松市立国分寺南部保育所	96	みどり保育園	109
高松市立古高松保育所	159	高松市立牟礼保育所	108	愛集苑保育所	20
高松市立下笠居東部保育所	29	高松市立田井保育所	54	さぬき市立長尾保育所	86
高松市立香西保育所	189	松福祉会城東保育園	96	計 38	3,398

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
香川大学教育学部附属幼稚園高松園舎	30	亀阜学園亀阜幼稚園	135	※ 善通寺市立中央幼稚園	65
高松市立前田幼稚園	14	高松学園高松幼稚園	147	善通寺市立西部幼稚園	41
高松市立川添幼稚園	28	屋島教会学園屋島教会幼稚園	88	善通寺市立南部幼稚園	51
高松市林こども園	226	聖母学園高松聖母幼稚園	96	善通寺市立東部幼稚園	62
高松市立三溪幼稚園	37	聖母学園桜町聖母幼稚園	148	善通寺市立北幼稚園	8
高松市立香西幼稚園	36	相愛学園相愛幼稚園	198	善通寺市立竜川幼稚園	150
高松市立一宮幼稚園	29	小山学園愛育幼稚園	38	善通寺市立筆岡幼稚園	71
高松市立多肥幼稚園	41	青空幼稚園	145	善通寺市立吉原幼稚園	43
高松市立川岡幼稚園	22	百華学園太田百華幼稚園	201	聖母学園善通寺聖母幼稚園	45
高松市立円座幼稚園	34	光華学園光華幼稚園	167	※ 香川短期大学附属のぞみこども園	85
高松市立檀紙幼稚園	30	新田学園新田幼稚園	134	観音寺市立観音寺こども園	397
高松市立弦打幼稚園	21	らく楽寺井幼稚園	197	観音寺市立観音寺中央幼稚園	136
高松市立鬼無幼稚園	20	国東学園くにとう幼稚園	329	観音寺市立大野原幼稚園	197
高松市下笠居こども園	97	やしま学園やしま幼稚園	233	観音寺市立豊浜幼稚園	109
高松市立木太幼稚園	61	認定こども園つくし幼稚園	85	聖母学園観音寺聖母幼稚園	100
高松市川島こども園	212	まゆみ学園まゆみ幼稚園	100	さぬき市立津田こども園	103
高松市屋島こども園	134	認定こども園サンシャインこどもの森	144	さぬき市立さぬき南幼稚園	80
高松市立春日幼稚園	19	中野保育所	146	さぬき市立志度幼稚園	53
高松市立木太北部幼稚園	29	花ノ宮こども園	90	さぬき市立さぬき北幼稚園	10
高松市庵治こども園	85	認定こども園すまいる	171	さぬき市立寒川幼稚園	37
高松市塩江こども園	50	丸亀市立西幼稚園	49	さぬき市立長尾幼稚園	22
高松市はらこども園	143	丸亀市立城坤幼稚園	76	さぬき市立造田幼稚園	24
高松市立栗山幼稚園	40	丸亀市立城東幼稚園	62	聖母学園長尾聖母幼稚園	19
高松市立大町幼稚園	7	丸亀市立城辰幼稚園	32	※ 社会福祉法人長尾福祉会認定こども園長尾学舎	73
高松市立大野幼稚園	31	丸亀市立郡家こども園	158	東かがわ市立引田こども園	101
高松市浅野こども園	148	丸亀市立あやうたこども園	79	東かがわ市立本町幼稚園	9
高松市川東こども園	106	丸亀市立飯山こども園	152	東かがわ市丹生こども園	49
高松市香南こども園	192	聖母学園丸亀聖母幼稚園	90	三豊市立二ノ宮幼稚園	14
高松市立国分寺北部幼稚園	68	丸亀虎岳学園丸亀城南虎岳幼稚園	70	三豊市立比地二幼稚園	42
高松市立国分寺南部幼稚園	74	香川大学教育学部附属幼稚園	76	三豊市立上高瀬幼稚園	67
高松中央高校幼稚園	46	坂出市立坂出中央幼稚園	31	三豊市立勝間幼稚園	41
ときわ幼稚園	96	坂出市立林田幼稚園	39	三豊市立麻幼稚園	23
高松聖母被昇天学院マリア幼稚園	193	坂出市立加茂幼稚園	9	三豊市立山本幼稚園	132
高松聖マコパ幼稚園	86	坂出市立府中こども園	59	三豊市立吉津幼稚園	43
四国高松学園高松東幼稚園	109	坂出市立川津幼稚園	15	三豊市立上高瀬幼稚園	39
香川県百華学園 勅使百華幼稚園	215	坂出市立松山こども園	95	三豊市立大見幼稚園	37
のぞみ幼稚園	103	ルンビニ幼稚園	147	三豊市立豊中幼稚園	246
栗林学園栗林幼稚園	267	きんかこども園	153	三豊市立詫間幼稚園	53
二番丁学園二番丁幼稚園	147	坂出一高幼稚園	116	三豊市立松崎幼稚園	19

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
三豊市立平石幼稚園	65	小豆島町立福田幼稚園	3	まんのう町立四条こども園	66
三豊市立曾保幼稚園	1	小豆島町立小豆島こどもセンター	116	まんのう町立満濃南こども園	80
三豊市立財田こども園	48	三木町立ししの子幼稚園	115	まんのう町立長炭こども園	74
土庄町立土庄こども園	186	三木町立田中幼稚園	12	まんのう町立仲南こども園	71
土庄町立大鐸こども園	37	三木町立氷上幼稚園	59	まんのう町立琴南こども園	40
土庄町立大部こども園	10	三木町立白山幼稚園	32	琴平町立南幼稚園	26
土庄町立北浦こども園	36	三木学園おおば幼稚園	161	琴平町立北幼稚園	24
土庄町立四海こども園	34	直島町立直島幼児学園	86	多度津町立四箇幼稚園	40
小豆島町立星城幼稚園	16	宇多津町立宇多津幼稚園	56	多度津町立白方幼稚園	2
小豆島町立安田幼稚園	22	青山幼稚園	97	多度津町立豊原幼稚園	63
小豆島町立菟羽幼稚園	12	香川短期大学附属幼稚園	187	多度津町立多度津幼稚園	48
小豆島町立旭幼稚園	5	まんのう町立高篠こども園	43	計 152	12,695

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
香川大学教育学部附属高松小学校	614	丸亀市立城西小学校	522	東かがわ市立大内小学校	487
高松市立新番丁小学校	806	丸亀市立城南小学校	362	三豊市立二ノ宮小学校	64
高松市立亀阜小学校	12	丸亀市立城東小学校	634	三豊市立比地小学校	158
高松市立栗林小学校	24	丸亀市立城辰小学校	340	三豊市立上高瀬小学校	208
高松市立花園小学校	230	丸亀市立本島小学校	3	三豊市立勝間小学校	159
高松市立高松第一小学校	638	丸亀市立郡家小学校	794	三豊市立大瀬小学校	115
高松市立鶴尾小学校	33	丸亀市立飯野小学校	315	三豊市立山本小学校	318
高松市立太田小学校	786	丸亀市立垂水小学校	354	三豊市立吉津小学校	137
高松市立木太小学校	461	丸亀市立富熊小学校	200	三豊市立下高瀬小学校	191
高松市立古高松小学校	474	丸亀市立栗熊小学校	129	三豊市立大見小学校	46
高松市立屋島小学校	350	丸亀市立岡田小学校	10	三豊市立桑山小学校	110
高松市立前田小学校	197	丸亀市立飯山北小学校	590	三豊市立笠田小学校	117
高松市立川添小学校	489	丸亀市立飯山南小学校	315	三豊市立本山小学校	138
高松市立林小学校	164	香川大学教育学部附属坂出小学校	415	三豊市立上高野小学校	94
高松市立三溪小学校	492	坂出市立坂出小学校	579	三豊市立比地大小小学校	123
高松市立仏生山小学校	547	坂出市立東部小学校	347	三豊市立詫間小学校	479
高松市立香西小学校	471	坂出市立金山小学校	145	三豊市立松崎小学校	20
高松市立一宮小学校	681	坂出市立西庄小学校	45	三豊市立仁尾小学校	230
高松市立多肥小学校	26	坂出市立林田小学校	300	三豊市立曾保小学校	11
高松市立川岡小学校	65	坂出市立加茂小学校	214	三豊市立財田小学校	153
高松市立円座小学校	730	坂出市立府中小学校	114	土庄町立土庄小学校	483
高松市立檜紙小学校	592	坂出市立川津小学校	8	土庄町立豊島小学校	18
高松市立弦打小学校	499	坂出市立松山小学校	173	小豆島町立星城小学校	135
高松市立鬼無小学校	8	坂出市立瀬居小学校	3	小豆島町立安田小学校	122
高松市立下笠居小学校	238	普通寺市立東部小学校	255	小豆島町立菟羽小学校	119
高松市立男木小学校	6	普通寺市立中央小学校	191	小豆島町立池田小学校	152
高松市立川島小学校	467	普通寺市立西部小学校	136	三木町立平井小学校	578
高松市立十河小学校	81	普通寺市立南部小学校	167	三木町立田中小学校	99
高松市立東植田小学校	33	※ 普通寺市立与北小学校	45	三木町立氷上小学校	559
高松市立植田小学校	86	※ 普通寺市立竜川小学校	404	三木町立白山小学校	13
高松市立中央小学校	923	普通寺市立筆岡小学校	214	直島町立直島小学校	6
高松市立太田南小学校	939	普通寺市立吉原小学校	133	宇多津町立宇多津小学校	412
高松市立木太南小学校	231	観音寺市立観音寺小学校	542	宇多津町立宇多津北小学校	570
高松市立古高松南小学校	705	観音寺市立伊吹小学校	7	綾川町立綾上小学校	6
高松市立屋島東小学校	26	観音寺市立高室小学校	122	綾川町立昭和小学校	232
高松市立屋島西小学校	32	観音寺市立常磐小学校	343	綾川町立陶小学校	98
高松市立木太北部小学校	390	観音寺市立豊田小学校	141	綾川町立滝宮小学校	6
高松市立塩江小学校	54	観音寺市立栗井小学校	73	綾川町立羽床小学校	21
高松市立庵治小学校	155	観音寺市立作田小学校	449	まんのう町立琴南小学校	59
高松市立牟礼小学校	283	観音寺市立一ノ谷小学校	251	まんのう町立高篠小学校	170
高松市立牟礼北小学校	425	観音寺市立大野原小学校	530	まんのう町立四条小学校	232
高松市立牟礼南小学校	180	観音寺市立豊浜小学校	350	まんのう町立満濃南小学校	218
高松市立大野小学校	13	さぬき市立津田小学校	181	まんのう町立長炭小学校	112
高松市立浅野小学校	14	さぬき市立さぬき南小学校	203	まんのう町立仲南小学校	175
高松市立川東小学校	14	さぬき市立志度小学校	497	琴平町立琴平小学校	129
高松市立香南小学校	6	さぬき市立さぬき北小学校	8	琴平町立榎井小学校	84
高松市立国分寺北部小学校	16	さぬき市立寒川小学校	229	琴平町立象郷小学校	114
高松市立国分寺南部小学校	232	さぬき市立長尾小学校	410	多度津町立四箇小学校	319
丸亀市立城乾小学校	180	さぬき市立造田小学校	182	多度津町立白方小学校	5
丸亀市立城坤小学校	654	東かがわ市立引田小学校	214	多度津町立豊原小学校	432
丸亀市立城北小学校	8	東かがわ市立白鳥小学校	324	多度津町立多度津小学校	252
				計 153	38,580

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
香川大学教育学部附属高松中学校	313	高松市立一宮中学校	334	高松市立牟礼中学校	424
香川県立高松北中学校	310	高松市立香東中学校	821	高松市立香川第一中学校	179
高松市立桜町中学校	775	高松市立下笠居中学校	89	高松市立香南中学校	178
高松市立紫雲中学校	638	高松市立男木中学校	2	高松市立国分寺中学校	669
高松市立玉藻中学校	558	高松市立山田中学校	545	丸亀市立東中学校	659
高松市立高松第一中学校	307	高松市立太田中学校	692	丸亀市立西中学校	762
高松市立屋島中学校	446	高松市立古高松中学校	567	丸亀市立南中学校	675
高松市立協和中学校	251	高松市立木太中学校	746	丸亀市立本島中学校	7
高松市立龍雲中学校	32	高松市立塩江中学校	47	丸亀市立綾歌中学校	303
高松市立勝賀中学校	668	高松市立庵治中学校	64	丸亀市立飯山中学校	492



学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
香川大学教育学部附属坂出中学校	5	さぬき市立長尾中学校	300	小豆島町立小豆島中学校	269
坂出市立坂出中学校	10	東かがわ市立引田中学校	117	三木町立三木中学校	58
坂出市立東部中学校	10	東かがわ市立白鳥中学校	174	直島町立直島中学校	48
坂出市立白峰中学校	433	東かがわ市立大川中学校	274	宇多津町立宇多津中学校	482
坂出市立瀬居中学校	9	三豊市立高瀬中学校	336	綾川町立綾上中学校	86
普通寺市立西中学校	278	三豊市立三野津中学校	237	綾川町立綾南中学校	470
観音寺市立観音寺中学校	280	三豊市立豊中中学校	267	まんのう町立満濃中学校	458
観音寺市立中部中学校	515	三豊市立詫間中学校	263	琴平町立琴平中学校	170
観音寺市立伊吹中学校	5	三豊市立仁尾中学校	126	多度津町立多度津中学校	565
観音寺市立大野原中学校	273	三豊市立和光中学校	93	大手前高松中学校	135
観音寺市立豊浜中学校	7	三豊市観音寺市学校組合立三豊中学校	362	香川誠陵中学校	215
さぬき市立さぬき南中学校	393	土庄町立土庄中学校	255	大手前丸亀中学校	283
さぬき市立志度中学校	375	土庄町立豊島中学校	15	香川県藤井中学校	313
				計69	21,517

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
香川県立小豆島中央高等学校	495	香川県立香川中央高等学校	42	高松市立高松第一高等学校	874
香川県立三本松高等学校	32	香川県立農業経営高等学校	272	藤井学園寒川高等学校	487
香川県立津田高等学校	293	香川県立坂出商業高等学校	493	高松中央高等学校	962
香川県立志度高等学校	360	香川県立坂出高等学校	754	英明高等学校	436
香川県立石田高等学校	342	香川県立坂出工業高等学校	357	大手前高松高等学校	659
香川県立三木高等学校	465	香川県立飯山高等学校	101	香川誠陵高等学校	345
香川県立高松北高等学校	71	香川県立丸亀高等学校	28	坂出第一高等学校	389
香川県立高松高等学校	280	香川県立丸亀城西高等学校	585	大手前丸亀高等学校	300
香川県立高松工芸高等学校	17	香川県立普通寺第一高等学校	593	香川県藤井高等学校	415
香川県立高松商業高等学校	912	香川県立琴平高等学校	548	村上学園高等学校	139
香川県立高松東高等学校	695	香川県立多度津高等学校	556	尽誠学園高等学校	722
香川県立高松南高等学校	70	香川県立笠田高等学校	344	四国学院大学香川西高等学校	18
香川県立高松西高等学校	835	香川県立高瀬高等学校	384	RITA 学園高等学校	40
香川県立高松桜井高等学校	828	香川県立観音寺総合高等学校	48	※ 香川高等専門学校 高松キャンパス	505
				計42	17,091

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
香川県立盲学校	16	香川県立高松養護学校	100	香川大学教育学部附属特別支援学校	57
香川県立聾学校	28	香川県立香川丸亀養護学校	249	計9	833
香川県立香川東部養護学校	5	香川県立普通寺養護学校	112		
香川県立香川中部養護学校	161	香川県立香川西部養護学校	105		

▶ 研修行事の開催と参加状況

主催	行事名	月日	場所	参加者(対象)	参加人数
本社	リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	6月 5日(土)	東京都・国立オリンピック記念センター	指導者	—
	全国指導者協議会総会・研修会	6月29日(火)	東京都・日赤本社 (WEB 開催)	指導者協議会長	1
	全国賛助奉仕団協議会総会	7月17日(土)	東京都・日赤本社 (WEB 開催)	賛助奉仕団委員長	1
	指導主事対象研究会	9月30日(木)	東京都・日赤本社 (WEB 開催)	指導主事	1
	スタディー・プログラム	12月25日(土)~26日(日)	東京都・日赤本社 (WEB 開催)	中高生メンバー	3
ブロック	中国・四国ブロック指導者協議会	10月22日(金)	高知県 (WEB 開催)	指導者協議会役員、支部職員	2
	中国・四国ブロック賛助奉仕団連絡協議会・研修会	10月28日(木)	香川県 (書面開催)	中・四国賛助奉仕団員	—
支部協議会	香川県指導者協議会役員会	4月27日(火)	日赤香川県支部	指導者協議会役員	12
	香川県賛助奉仕団総会・役員会	4月27日(火)	香川県社会福祉総合センター	賛助奉仕団役員	10
	リーダーシップ・トレーニング・センター事前打合せ	8月 2日(月)	日赤香川県支部	指導者	19
	リーダーシップ・トレーニング・センター	8月 7日(土)~ 8日(日)	香川県立五色台少年自然センター	小・中・高メンバー、指導者、支部職員	70
	香川県指導者研修会	9月21日(火)	香川県社会福祉総合センター	指導者	36
	香川県指導者協議会役員会	10月 1日(金)	日赤香川県支部	指導者協議会役員、支部職員	11
	香川県賛助奉仕団役員会	10月 1日(金)	香川県社会福祉総合センター	賛助奉仕団役員、支部職員	7
	リーダーシップ・トレーニング・センター指導者研修会(反省会)	10月15日(金)	日赤香川県支部	指導者	15
	研究発表会	10月28日(木)	高松市立川添小学校 (紙上発表)	指導者等	—
	香川県指導者協議会役員会	3月18日(金)	日赤香川県支部	指導者協議会役員	10
香川県賛助奉仕団役員会	3月18日(金)	香川県社会福祉総合センター	賛助奉仕団役員	7	





▶ 青少年赤十字指導者研修会の開催

青少年赤十字指導者をはじめとする参会者に、学校現場へ青少年赤十字を取り入れ、学校づくりや子どもの育成等に役立てていただくことを目的として開催することとしており、令和3年度においては、次のとおり開催しました。

- 日 時／令和3年9月21日(火) 14:00～16:00
- 場 所／香川県社会福祉総合センター 7階第一中会議室
- 参 加 者／青少年赤十字加盟校指導者等 36人
- 講演内容／講演「西日本豪雨災害 そのとき それからの学校」
～避難所運営・学校再開を通じて考えたこと～
講師／倉敷市立菟小学校 校長 高津智子氏



▶ 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターの開催

青少年赤十字の組織と活動のリーダーとなる児童・生徒の養成を目的として開催します。

知識、技術、態度の面から赤十字と青少年赤十字について学習します。

- 日 時／令和3年8月7日(土)・8日(日)
- 場 所／香川県立五色台少年自然センター
- 参 加 者／小・中・高校生メンバー、指導者 70人
- 内 容／赤十字の歴史、健康安全プログラム、フィールドワーク等



▶ 青少年赤十字研究推進校の指定

青少年赤十字活動の充実強化を図るとともに、地域への理解促進を図り、青少年赤十字事業の振興を期するため、青少年赤十字研究推進校を指定し、研究を委嘱しました。

指定年度	指定期間	研究主題	指定校名
令和2年度	令和2年度～令和3年度	他社とともによりよく生きようとする児童の育成 ～各教科、特別活動、その他の教育活動と連携した道徳教育～	高松市立川添小学校
令和3年度	令和3年度～令和4年度	目標をもち、主体的・協働的に達成を目指す児童の育成	坂出市立林田小学校

▶ 研究発表会の開催

- 日 時／令和3年10月28日(木) (紙上発表)
- 開 催 校／高松市立川添小学校
- 参 加 者／教育関係者、赤十字関係者等へ資料送付





高松赤十字病院は、明治40年6月1日に日本赤十字社香川支部病院として設立されて以来、医療法における公的医療機関として地域医療の中核を担うとともに、災害時には医療救護活動の重要な拠点として地域医療に貢献してきました。また、急性期・高度急性期型医療施設として、DPC(包括医療支払制度)への対応、地域がん診療連携拠点病院の指定、7対1の看護基準の取得、地域医療支援病院の承認、地域周産期母子医療センターの認定や手術支援ロボット「ダヴィンチ」、MRI3テスラ、最新鋭320列CTの導入や、電子カルテの更新、造血幹細胞・腎臓の移植医療に関する診療基盤の整備、TAVI(経カテーテル大動脈弁留置術)の認定等、診療機能の強化を図ってきました。

令和2年4月からは本館北タワーが本格稼働となり、PET-CTやIVR-CT、高度放射線治療機器など高度医療機器を整備拡充しており、更なる診療機能の強化、業務の効率化を図り、高度専門医療を提供する公的病院として質の高い医療の提供に努めています。

一方で令和2年の初めから世界的に流行している新型コロナウイルスへの対策は重要な課題となっておりますが、院内にコロナ対策特命チームや部会を設置し、マニュアルの作成やシミュレーションを重ねるなど、万全の体制で対応しています。



▶ **病床数** 564床(一般病床562床 結核病床2床)

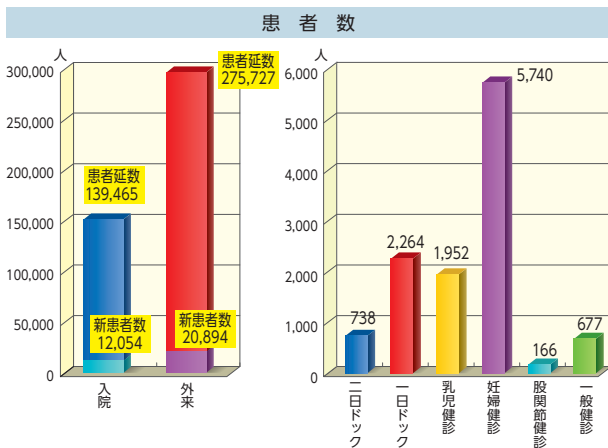
▶ 診療科目

内科、血液内科、腫瘍内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科、感染症内科、精神科、小児科、消化器外科、胸部・乳腺外科、小児外科、脳神経外科、脳卒中外科、心臓血管外科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、腎臓外科(臓器移植)、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科

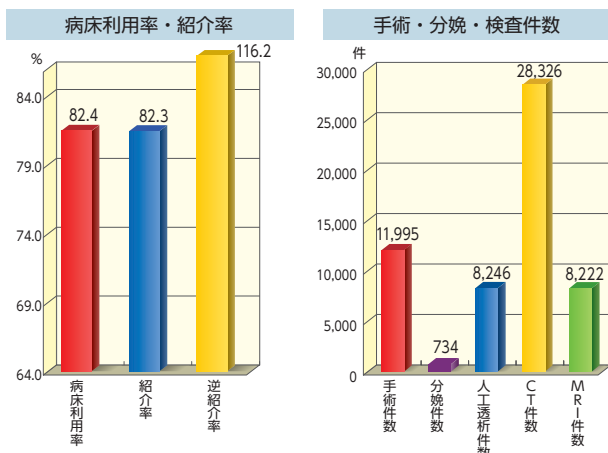
▶ 職員数 (令和4年3月31日現在)

- 医師 209人
- 医療技師 181人
- 看護師・助産師 567人
- 事務職員 187人
- その他職員 57人

▶ 業務実績 (令和3年度)



一日平均入院患者数	382.1人
一日平均外来患者数	1,139.4人
平均在院日数	11.2日



▶ 主な指定、施設基準

- 災害拠点病院(地域災害医療センター)
- 病院群輪番制第二次救急指定病院
- 臨床研修指定病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域医療支援病院
- 産科医療補償制度加入機関
- 地域周産期母子医療センター
- 急性期一般入院基本料1
- 総合入院体制加算2
- 医療安全対策加算1
- 感染防止対策加算1
- 特定集中治療室管理料2
- 新生児特定集中治療室管理料2
- 医師事務作業補助体制加算115対1
- 急性期看護補助体制加算25対1
- 無菌治療室管理加算1

▶ その他認定取得

- (財)日本医療機能評価機構認定施設
- ホスピレート認証施設
- 卒後臨床研修評価機構認定施設
- 看護師の特定行為研修指定研修機関

▶ 医療の質の向上

- ① 医師の育成と確保
 - 初期、後期臨床研修の指導体制の充実
 - 初期、後期研修医の確保
令和3年度 初期17名、後期5名
 - 医師事務支援体制の充実(医師の外来業務負担軽減)
令和4年3月31日現在、外来クラーク37名
- ② 診療科創設
 - 腫瘍内科、血管治療科の開設
- ③ 看護師の育成と確保
 - 新人看護師、新人助産師及び看護師の教育体制の充実
令和3年度新人看護師31名(助産師4名を含む)



- 認定看護師、専門看護師など専門分野における高度な知識、技術を有する看護師の育成
令和4年3月31日現在
認定看護師30名、専門看護師2名
- 特定行為研修修了看護師の配置
令和4年3月31日現在 17名
- 病棟クラーク（看護業務の事務支援スタッフ）の拡充
令和4年3月31日現在 8名
- ④医療スタッフの育成と確保
 - 薬剤師によるチーム医療、各種指導体制の強化
 - 臨床検査技師による検査部門の充実と患者サービスの向上
 - 放射線科技師による放射線治療及び画像検査体制の充実
 - 超音波診療センターの体制整備、機能の拡充
 - 作業療法士(OT)、理学療法士(PT)、言語療法士(ST)による急性期リハビリ体制の充実、土曜リハビリの完全実施、日、祝日リハビリの拡充
 - 臨床工学技士による手術、透析、心臓カテーテル支援の充実、医療機器の中央管理
 - 管理栄養士による栄養サポート、栄養指導体制の強化
 - 介護福祉士の重点配置
- ⑤病診・病病連携の強化
 - 医療社会事業部のマンパワーの強化と機能拡充
 - 地域連携の前方・後方・双方向の支援体制強化
 - 逆紹介の推進(令和3年度逆紹介率116.2%)
 - 入退院センターの多職種による機能強化
 - 地域連携機関とのホットラインの運用強化(循環器内科、脳神経外科、泌尿器科等)
 - 患者相談支援センターの拡充
 - 地域連携ニュース(医師向け)の継続発行
 - 高松赤十字病院登録医制度の拡充、運用の推進
- ⑥チーム医療の推進
 - 多職種参加研修会、講演会等の開催
 - モーニングセミナーの継続的開催
- ⑦救急医療の充実
 - 救急医療スタッフの拡充
 - 24時間診療体制の維持
 - 救急車の受入強化、応需率の向上
 - ドクターカーの有効活用
- ⑧周産期医療並びに小児医療の強化
 - 高度生殖医療センターの充実
 - 助産師外来の拡充
- ⑨がん医療の充実
 - PET-CTの有効活用
 - リニアックの推進
 - 緩和医療の推進
 - がんゲノム医療の推進

- ⑩医療安全管理体制の強化
 - 院内迅速対応システム(RRS)の推進
 - 医療安全の研修会参加
- ⑪院内感染防止対策の強化
 - これまでの新型コロナウイルス感染症患者の受入実績(入院陽性患者304人、外来陽性患者632人)
 - 院内感染対策室の機能強化
 - 感染対策講習会参加の徹底
 - 新型コロナウイルス対策協議会の開催

▶患者サービスの向上

- ①女性外来の推進、拡充
 - 女性医師を中心としたプライバシーに配慮した診療体制(産婦人科(火)、泌尿器科(水)、胸部・乳腺外科(木))
- ②患者への情報提供の推進
 - ホームページ、広報誌「ななでつきよんな」の充実
 - 患者図書室の有効活用
 - 院内情報配信システムの有効活用
- ③接客能力の向上
 - 職員の接客研修の強化
 - 患者満足度の向上
 - ご意見箱の設置
- ④待ち時間の短縮
 - ホスピジョン(患者番号案内表示システム)
 - 予約時間の徹底、新患外来の推進
- ⑤人間ドックの充実
- ⑥病院へのアクセス改善
 - 日赤シャトルバス
- ⑦コンシェルジュの適正配置

▶診療基盤の整備

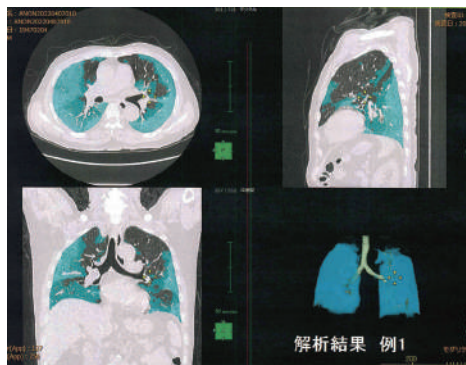
- ①電子カルテの更新
- ②高度医療機器の更新並びに必要な医療機器の新規導入による診療機能の向上
 - ダヴィンチXi(香川県初の最新機種2台体制)
 - デジタルマンモグラフィ撮影装置
 - 超音波画像診断装置
 - VINCENT肺画像解析プログラム COVID-19肺炎画像解析プログラム
- ③新型コロナ患者の受入れ病床数の増加



ダヴィンチXi



超音波画像診断装置
(新型コロナウイルス感染症
緊急包括支援補助金)



VINCENT肺画像解析プログラム
COVID-19肺炎画像解析プログラム
(新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金)



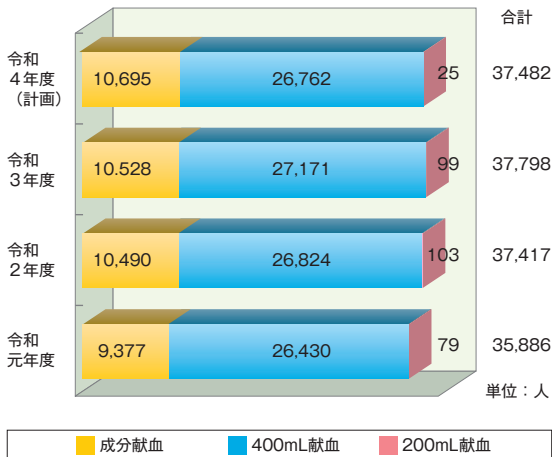
デジタルマンモグラフィ
撮影装置



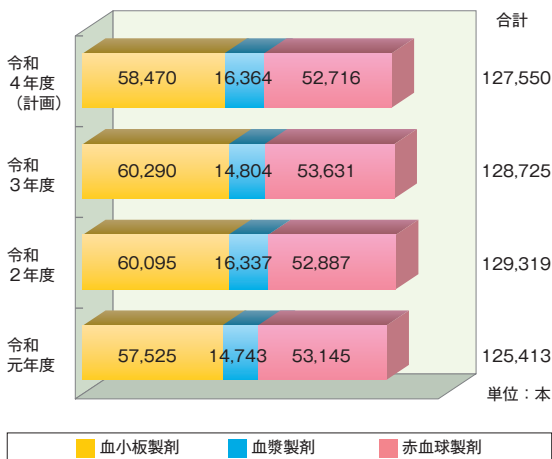
血液事業

「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」により、行政の定める献血推進計画に基づき、献血受入計画を作成し、安全な血液製剤の安定供給に努めています。また、各献血協力団体との連携の強化はもとより、広報活動の充実に努め、さまざまなキャンペーンや広報を通じて県民の皆様に献血思想の普及、啓発を図っています。

▶ 県内献血実績



▶ 県内輸血用血液供給実績 (200mL換算本数)



▶ 献血稼働実績

年度	献血バス	一台平均数	献血ルーム	一日平均数
令和4年度(計画)	336台	55.0人	363日	50.0人
令和3年度	322台	58.1人	361日	52.9人
令和2年度	301台	60.5人	360日	53.3人
令和元年度	312台	57.7人	361日	49.6人

香川県赤十字血液センター

〒761-8031 高松市郷東町字新開587-1
TEL 087-881-1500

献血ルーム“オリーブ”

〒760-0029 高松市丸亀町13番地3
高松丸亀町参番街東館3F
TEL 087-821-2300

▶ 全国学生クリスマス献血キャンペーン

学生献血ボランティアが主催し、学生を中心に献血の輪を拡大することを目的に昭和63年から実施され、本県においてもアイデアを凝らしたイベントを令和3年12月18日から25日にかけて実施しました。

▶ はたちの献血キャンペーン

冬季における輸血用血液の安定確保を図るため、令和4年1月1日から2月28日までの2ヵ月間、成人として社会への第一歩を踏み出そうとしている若い方を中心にキャンペーンを実施しました。

▶ 若年層への普及啓発

少子高齢化による献血者減少に対応するため、主に将来の献血を担う10代を中心とした若年層世代を対象に献血について正しい知識の習得や、助け合いの精神を育成すること等を目的とした「献血出前セミナー」や「血液センターでの見学学習」を実施し、若年層への献血に関する知識の普及啓発活動を行いました。

▶ 複数回献血者の確保

安全性の高い輸血用血液を安定的に確保するため、継続的な献血が期待できる複数回献血クラブ「ラブラッド」の登録者(年間複数回献血者)を募集しました。登録者には血液センターからのイベント情報等のお知らせや輸血用血液が不足しがちな時期に献血の依頼をメールやLINEにて発信しました。

▶ 献血協賛企業活動の推進

献血活動への理解と協力並びに社会貢献活動の象徴として作成したロゴマーク「献血サポーター」を、献血協力企業及び団体に活用してもらうことにより、献血活動を広く一般社会に周知するとともに、企業・団体が行う献血活動の普及・拡大を推進しました。

▶ 各種媒体による広報

献血へのより一層の推進を図るため、献血ルーム「オリーブ」を中心に、FMラジオ、地元タウン情報誌、ホームページ等の各種情報媒体を活用した広報を実施しました。





赤十字思想の普及

社業の進展を図るためには、多くの方々に赤十字の趣旨と活動についての理解と認識を深めていただくことが肝要です。

そのために県内各地で行った救急法等の講習会をはじめ、諸会合等あらゆる機会をとらえて広報活動に努めました。

また、テレビ、ラジオ、新聞などの報道機関や市町広報の協力を得て、赤十字会員増強運動月間、義援金の受付、献血キャンペーン、救急法等講習会のPRを実施しました。

▶「赤十字フェスタ2021」の中止に伴う赤十字思想普及展示の実施

5月8日の世界赤十字デーを中心に、広く県民に赤十字を理解してもらうことを目的に、「赤十字フェスタ」を開催することとしておりましたが、令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、県内にまん延防止等重点措置が適用されたことに伴い、次のとおり赤十字思想の普及啓発展示として実施しました。

- 主 催／日本赤十字社香川県支部
- 日 時／令和3年4月25日(日) 11:00～15:00
- 場 所／高松丸亀町壹番街前ドーム広場
- 内 容／
 - ・救急法オンライン講習
 - ・キャンペーンコーナー
 - ・災害救護活動等の写真展示
 - ・救護車両展示
 - ・ハートラちゃんと記念写真
 - ・赤十字支援自販機設置



▶「世界救急法の日(World First Aid Day)」記念イベントの開催

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

9月の第2土曜日は、国際赤十字・赤新月社連盟が世界統一のキャンペーンとして定めた「World First Aid Day」(世界救急法の日)であることから、令和3年度においては、次のとおり記念イベントを実施予定としていました。

- 主 催／日本赤十字社香川県支部、高松赤十字病院
- 日 時／令和3年9月11日(土) 10:00～11:40
- 場 所／香川県社会福祉総合センター1階コミュニティホール
- 内 容／
 - ・高松赤十字病院「県民公開講座」
 - 演題／新型コロナウイルスに対する対応(ワクチン等) 講師／高松赤十字病院 副院長 大西宏明
 - ・講演「つなげよう救命の連鎖 広げよう地域の輪」 日本赤十字社香川県支部職員
 - ・実演「一次救命処置」 救急法指導員
- 来場予定者／100人

▶新型コロナウイルス感染症への対応

日本赤十字社では、「人のいのちと健康を守る」という使命のもと、全国の赤十字施設を挙げて以下の取り組みを行いました。

- ① 職員の派遣(一時滞在施設等)
- ② 赤十字病院における感染者等の受け入れ
- ③ 深刻な血液不足への対応
- ④ 感染予防啓発活動(動画配信・パンフレット)等



▶香川県新型コロナウイルス健康相談コールセンター

「香川県新型コロナウイルス健康相談コールセンター」に職員を派遣し、県民の皆様からの電話相談にあたりました。このコールセンターは、これまで各保健所に対応していた一般相談に係る負担を軽減し、業務の円滑化を図るとともに、相談窓口の集約化により相談体制の強化を図ることを目的に、香川県が開設したものです。香川県看護協会等が委託を受け、保健師や看護師が24時間体制で電話相談に対応しています。



香川県赤十字有功会

▶令和3年度香川県赤十字有功会総会の開催

有功会は、赤十字を理解し、赤十字の活動資金である会費を拠出いただき日本赤十字社有功章等を受章された方々により赤十字の有力な支援団体として赤十字思想の普及と事業の推進等を図るため結成された組織です。香川県赤十字有功会は平成16年に結成されました。

令和3年度の総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会議の開催を見合わせ文書をもって審議を行い、令和2年度事業報告、令和2年度歳入歳出決算、令和3年度事業計画、令和3年度歳入歳出予算が承認されました。

●会 員 数／個人 49人 法人 98社



▶令和3年度表彰者

伝達式は行わず、支部事務局にて対象者の方々へ、有功章等をお届けしました。

●社長感謝状／個人 5人 法人 1社
●金色有功章／個人 12人 法人 6社
●銀色有功章／個人 5人 法人 55社



評議員会

評議員会は、会員（法人が会員の場合は、その法人を代表する役員）の中から選出された評議員をもって組織されます。

評議員会は、支部の重要な業務について審議するほか、支部長の諮問に答えます。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会議の開催を見合わせ文書をもって審議を行い、香川県支部、高松赤十字病院、香川県赤十字血液センターの令和2年度事業報告、決算、令和4年度事業計画、予算等が承認されました。

▶日本赤十字社香川県支部役員名簿

(令和4年3月31日現在)

職名	氏名	地区別	職名	氏名	地区別
支 部 長	浜田 恵造		評 議 員	福岡 由紀子	丸亀市地区
副 支 部 長	西原 義一		//	横山 孝雄	//
監 査 委 員	長嶋 正信		//	松浦 佳子	坂出市地区
//	蓮井 明博		//	高畑 光宏	善通寺市地区
//	泉川 雅俊		//	挽田 公孝	観音寺市地区
評 議 員	角田 朝則	高松市地区	//	藤井 邦子	さぬき市地区
//	大野 敏子	//	//	江川 京子	東かがわ市地区
//	中村 絹代	//	//	植岡 澤江	三豊市地区
//	稲毛 和子	//	//	松本 篤	小豆地区
//	多田 廣子	//	//	伊藤 良春	東讃地区
//	林 茂子	//	//	谷川 俊博	中讃地区
//	宮本美枝子	//	//	片岡 英樹	//
//	松本 孝子	//	//	香川 亮平	支部長選出
//	藤澤津多子	//	//	久米川 啓	//
//	多田 安寛	//	//	近藤 雅樹	//
//	岩崎 正朔	丸亀市地区	//	近藤 彰介	//

※評議員任期 令和4年2月14日～令和7年2月13日



決算概要

▶ 令和3年度一般会計（香川県支部）歳入・歳出決算概要

科 目	決 算 額 (円)	構成比 (%)	科 目	決 算 額 (円)	構成比 (%)
社資収入	195,186,048	69.4	災害救護事業費	21,394,796	9.9
一般社資収入	152,585,737		救護看護師養成費	4,320,000	2.0
・会費収入	128,317,951		救急法・健康生活支援講習等講習普及費	28,839,151	13.4
・寄付金等収入	24,264,786		奉仕団活動費	1,613,983	0.7
・指定事業社資収入	3,000		青少年赤十字活動費	2,227,246	1.0
法人社資収入	42,600,311		地域(市町)における赤十字活動費	21,744,000	10.1
・その他社資収入	42,600,311		赤十字運動普及・会員増強費	19,255,509	8.9
委託金等収入	1,117,233	0.4	医療施設基盤整備交付金	7,670,000	3.6
本社からの事業交付金	7,109,150	2.5	血液事業基盤整備交付金	497,860	0.2
繰入金収入	16,340,099	5.8	国際救援活動費及び本社事業費	29,968,861	13.9
資産収入(香川県への土地貸付け等)	5,349,389	1.9	資金積立金(災害等・国際救護活動・施設整備準備積立金)	40,065,000	18.6
救急法・健康生活支援講習等講習教本代等収入	5,319,238	1.9	資産管理費	3,555,931	1.6
前年度繰越金(年度当初事業資金)	50,792,787	18.1	事業管理運営費	34,374,484	15.9
歳入合計	281,213,944	100.0	歳出合計	215,526,821	100.0

歳入歳出差引(翌年度当初事業資金) 65,687,123円

Mission statement



日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。



 **日本赤十字社** 香川県支部
Japanese Red Cross Society

〒760-0017 香川県高松市番町一丁目10番35号
香川県社会福祉総合センター内
TEL 087-861-4618 FAX 087-862-7010
E-mail : nisseki@kagawa.jrc.or.jp
ホームページ <https://www.jrc.or.jp/chapter/kagawa>

日本赤十字社香川県支部

検索

